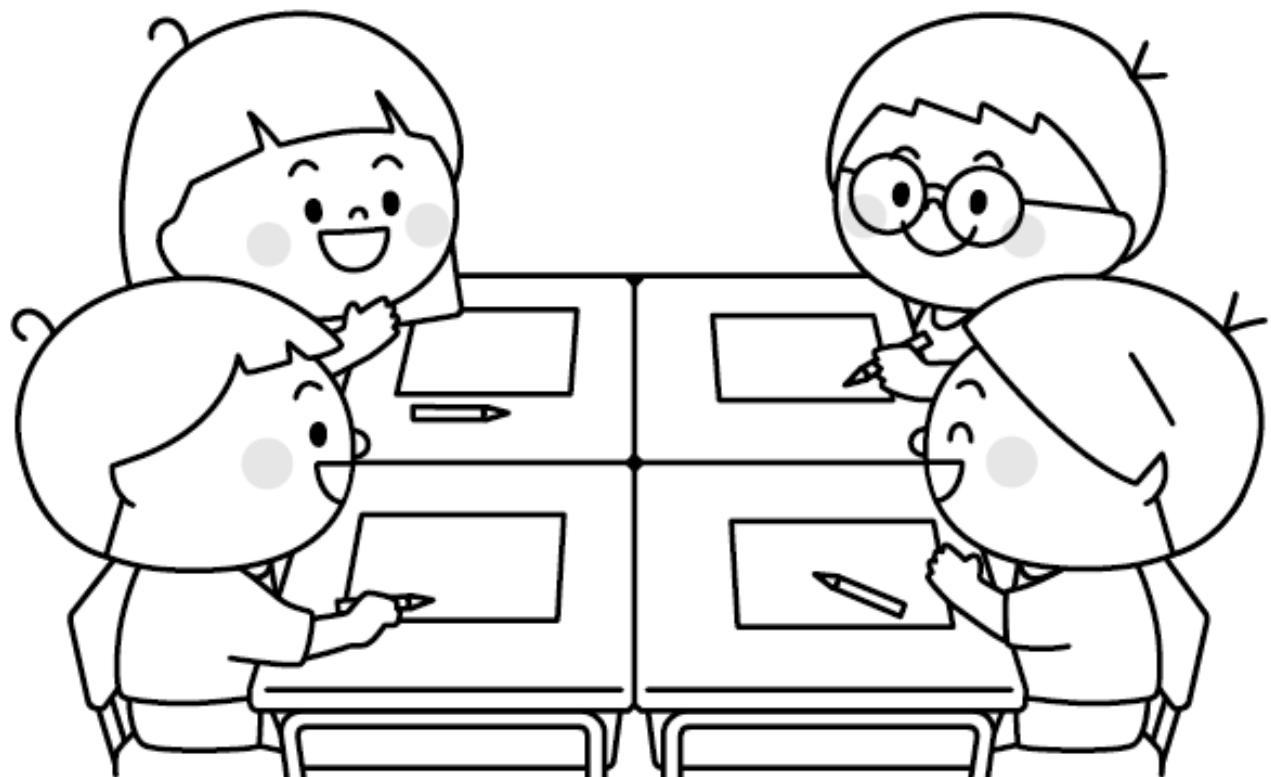


令和 7 年度

# 授業改善推進プラン



令和 7 年 9 月  
台東区立黒門小学校

## 目 次

1 学力向上を図るための全体計画 ······ P 1

2 授業改善推進プラン

各学年・専科指導方法の課題・具体的な授業改善策 ······ P 2 ~ 7

# 1 学力向上を図るための全体計画（令和7年度）

## ○台東区の教育目標達成のための基本方針（概略）

- ・人権尊重の精神の育成
- ・学校教育の充実
- ・生涯学習の充実
- ・区民の教育参加の推進 等

## ○台東区学校教育ビジョン

- ・新しい時代に対応する資質・能力を育成する
- ・グローバルな社会で活躍する人材を養成する
- ・多様なニーズを具現化する教育を開拓する
- ・持続可能な社会を創造する教育を開拓する

## ○学校教育目標

やさしい子 たくましい子 考える子

## ○学校経営方針

### [学力向上にかかわる要点]

- ◇地域に貢献すべき学校であることを自覚し、保護者・地域のニーズは何かを考え、学校教育の可視化を図りながら保護者・地域と関係性を構築していく。
- ◇「確かな学力」を育成するために、校内研究の研究内容の日常的な実践と検証を積み重ねるとともに、1人1台端末や地域の教育環境を活用して学びの質的向上を図る。

## ○地域の実態

- ・歴史と伝統を重んじ、学校教育に主体的に参画するなど協力的である。

## ○保護者の願い

- ・コミュニケーション力の向上
- ・他者を思いやり、尊重し、多様性への理解を深めることができる教教育活動
- ・創造力、思考力、判断力の育成

## ○期待される児童像

- ・主体的、協働的に学習に取り組み、新たな発見をすることできる児童

### 本校の目指す「確かな学力」

文部科学省が掲げる確かな学力の要素である「基礎的・基本的な知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「主体的に学習に取り組む態度」を基盤とした、未来を拓く資質・能力の育成。

### 本校の授業改善に向けた視点

指導内容・指導方法の工夫	校内における研究や研修の工夫	教育課程上の工夫	家庭や地域社会との連携の工夫
○全国学力・学習状況調査及び台東区総合学力調査の結果を分析の上、授業改善推進プランを活用した指導の工夫・改善	○校内研究 「Well-being な社会をめざして 個別最適な学びと協働的な学びを実現する生活科・総合的な学習の時間の授業づくり」  ・「主体的に取り組み、学びの価値を見いだし、学んだことを活用しようとする児童」、「自ら疑問や課題を見つけ、見通しをもって、よりよく解決しようとする児童」の育成	○創意工夫の生かせる弾力的な単元構想  ○時数の確保と余剰時数の有効活用  ○読書活動の推進 ・図書館司書と連携した図書館の整備及び活用 ・「朝読書」と図書ボランティアによる読み聞かせ活動を通した読書活動	○学校教育の可視化 ・学校評価の公表 ・授業公開 (土曜3回、平日1回／年)
○言語活動を取り入れた授業の実施 国語科を中心とした「話す・聞く」「書く」「読む」技能の向上	・「自己調整学習について」を活用した授業実践  ・研究授業の取組	・学力調査、校内の実態調査を活用した、児童の実態把握と研究への活用	○地域環境・人材の活用 ・体験的な活動の積極的な実施 ・図書ボランティアと連携した読書習慣定着のための取組の充実
○ICT 教育環境を生かした教育活動の推進	○ ICT 研修の充実		○家庭学習の充実 ・宿題や家庭学習等に主体的に取り組む態度の育成と家庭への啓発
○校内研究との関連			
○個別最適な学びと協働的な学び ・「学力向上推進ティーチャー・教育活動アシスタント・特別支援教育支援員」の活用 ・グループ学習の実施			

令和6・7年度 台東区教育委員会研究協力学校

## 令和7年度 第1学年 授業改善推進プラン

台東区立黒門小学校

	児童・生徒の実態を踏まえた課題	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・促音、拗音、句読点や助詞の「は・を・へ」を正しく使って、自分の思いや考えを書くこと。</li>   <li>・行動したことや経験したことについて、事柄の順序を考えて話すこと。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・促音、拗音、助詞や句読点を正しく使い、文章を書く力。</li>   <li>・相手に伝わるように、行動したことや経験したことに基づき、事柄の順序を考えて話す力。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・促音、拗音、助詞や句読点に着目させて書くように促す。また、他教科でも、例文を示して自分の思いや考えを書くことで自分の思いや考えを書くように促す。</li>   <li>・話す活動の前に、事柄の順序を考える活動を設定する。「どうしてか」と「なぜならば」など理由も伝えられるように話型を取り入れる。</li> </ul>
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・たし算やひき算の計算が正確にできること。</li>   <li>・具体物の操作をしたり、グループで長さを捉える活動をしたりする中で、分かったことや考えたことを伝えること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・たし算やひき算の計算が正確にできる力。</li>   <li>・具体物の操作を通して、長さ、広さ、かさなどの量の比べ方を見いだしたり、表現したりする力。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝学習や授業の始めに、「e ライブラリ」を活用して繰り返し復習問題に取り組ませ、計算力の定着を図る。</li>   <li>・具体物を操作することで、数の表し方やものの大きさ量の単位の理解につなげる。繰り返し数学的活動を取り入れ、理解を深める。</li>   <li>・ペアやグループ活動などの児童同士の学び合いの時間を積極的に取り入れて、自分の考えと友達の考えを比べて考えたりできるような、学習活動を展開する。</li> </ul>

## 令和7年度 第2学年 授業改善推進プラン

台東区立黒門小学校

	児童・生徒の実態を踏まえた課題	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文字や言葉の特徴や使い方を身に付け、正しく読んだり書いたりすること。</li>   <li>・身近な話題について、事柄の順序を考えて話すこと。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平仮名や片仮名を正しく読んだり書いたりする力</li> <li>・第2学年までに配当されている漢字を正しく書き、文や文章の中で使うことができる力。</li>   <li>・長音、拗音、促音、撥音などの表記や句読点の打ち方、助詞の「は」「を」「へ」の使い方、かぎ(「」)の使い方を理解して文や文章を書く力。</li>   <li>・自分の思いや考えについて、相手に伝わるように話す力。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字の学習で、書き順の確認や字形を意識して書いたり、送り仮名を正しく書いたりする指導を行う。他教科と連動して、日常的に正しく表記できるよう指導し、習得させる。</li> <li>・長音、拗音、促音、撥音や句読点、助詞に着目させて書くように指導する。日記や作文では、例文を示して自分の思いや考えを書く指導を行い、言葉の使い方を習得させていく。</li> <li>・朝のスピーチ活動、ペアやグループでの話合い活動において、自分の好きなことや身近な出来事について話したり書いたりする。</li> </ul>
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・繰り上がりのたし算、繰り下がりのひき算の計算の力を定着させること。</li> <li>・単位の関係を理解し、適切な単位を用いて表現すること。</li>   <li>・言葉や図、式を用いて、自分の考えを分かりやすく説明すること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・たし算やひき算を正確に計算する力。</li>   <li>・具体物の操作や図から、ものの形や量の感覚を養い、身に付ける力。</li>   <li>・言葉だけでなく、図や式を用いることでより簡潔に分かりやすく表現する力。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝学習や授業の始めや終わり、家庭学習などで、繰り返し復習問題に取り組ませ、計算技能の習熟を図る。</li> <li>・具体物を操作する時間を確保することで、数の表し方や量の単位、時間の単位の理解につなげる。具体物操作と問題練習を組み合わせ、理解の定着につなげる。</li> <li>・文章を式や図に表す活動を通して、簡潔に表せることのよさを実感できるよう指導する。個人の学習だけでなく、グループ活動も取り入れ、ほかの考え方や友達の考え方のよい点に気付かせる。</li> </ul>

## 令和7年度 第3学年 授業改善推進プラン

台東区立黒門小学校

	児童・生徒の実態を踏まえた課題	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字の定着や使い分けが不十分であること。</li> <li>・内容のまとまりで段落をつくること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第3学年までに配当されている漢字を正しく書き、文や文章の中で使うことができる力。</li> <li>・内容の中心を明確にし、文章を書く力。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字練習やテストで誤った字を振り返る時間を設定し漢字が「へん」や「つくり」などから構成されており、字義や読みを推測できることを指導する。</li> <li>・組み立てメモを活用し、段落のまとまりを「はじめ」「中」「おわり」にまとめる。</li> </ul>
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計算技能(加法・減法・九九)の定着にばらつきがあることや計算の誤りが多いこと。</li> <li>・言葉や図、式を用いて、自分の考えを分かりやすく説明すること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な計算技能(加法・減法・九九)を正確かつ迅速に計算する力。</li> <li>・見出したことを言葉や図、式を用いて、自分の考えをわかりやすく説明する力。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝学習や授業の始め、家庭学習などで、繰り返し復習問題に取り組ませ、計算技能の習熟を図るとともに、習熟度に応じた個別指導や小グループでの補習を行い、理解度の差を埋める。</li> <li>・問題の解き方や考え方を、具体物や図、数、式を用いて可視化し、説明する時間を設定する。</li> </ul>
理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事象の予想や観察、実験の手順や方法の理解が不十分であること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観察、実験などに関する基本的な技能を身に付け、問題解決する力。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事物、事象を比較したり、生活体験と関連付けたりし、共有する時間を設けることで、多様な予想を引き出す。手順や内容を可視化したり、観察する点を具体的に伝えたりすることで見通しをもたせる。</li> </ul>
社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観察や調査の視点が不明確で、情報が整理しにくいこと。</li> <li>・地図帳やICT機器の操作や活用方法に慣れていないこと。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調査活動、地図帳や各種の具体的な資料を通して、必要な情報を調べ、まとめる力。</li> <li>・地図帳やICT機器などのツールを効果的に使いこなす力。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調査活動の目的、視点を明確にし、適した方法を考える。また、付箋やICT機器を活用し、情報の整理、分析を行い、進め方を指導する。</li> <li>・地図帳やICT機器を使用する課題を設定し、実際に触れながら段階的に指導する。</li> </ul>

## 令和7年度 第4学年 授業改善推進プラン

台東区立黒門小学校

	児童・生徒の実態を踏まえた課題	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既習の漢字を正しく書くこと。</li> <li>・主語と述語の関係に関して理解すること。</li> <li>・自分の考えを明確にして文を書くこと。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前学年までに配当されている漢字を書き、分野文章の中で使うことができる力。</li> <li>・主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、支持する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解する力。</li> <li>・相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり、分類したりして伝えたいことを明確にする力。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ノートの板書及び作文指導等で既習の漢字について、活用させること。また、漢字のテストを行い、既習の漢字の理解を深める。</li> <li>・文章の内容を読み取る際に、「こそあど言葉」や接続し、段落の関係について確認し、文章の構成を理解しながら読む。</li> <li>・文章を書く際に、誰に書くのかといった目的意識を明確にさせる。また、本や文章を調べたり、聞いたりすることで得た情報を共通点や相違点を明確にしながら分類し文章に反映する。</li> </ul>
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大きい数、小数、分数などの相対的な大きさを理解すること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・十進位どり記数法についての理解を深め、大きな数の大きさの比べ方や表し方を統合的に捉え、日常生活に生かす力。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・数字の桁や位を正しく把握するために、位取り表のカードを配布したり、学力向上推進ティーチャーを活用して個別の指導を充実させたりする。</li> </ul>
理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電池のはたらきについて生活経験を基に、根拠のある予想を立てること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既習の学習や生活経験を基に、根拠のある予想や解決方法を発想する力。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予想の根拠を、既習の学習や生活経験を基に説明する活動を取り入れ、自分の考えを明確にする。また、予想を基に、グループで解決の方法を話し合う活動を取り入れ、主体的に学ぶ態度を養う。</li> </ul>
社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料を正しく読み取ること。</li> <li>・学習したことを日常生活につなげること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調査活動や地図帳などの具体的資料を正しく読み取り、必要な情報をまとめる力。</li> <li>・自分の生活との関わりを理解し、よりよい生活を考える力。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料名や項目などを確認させ、読み取ることができる情報を共有する。また、効果を考えながら、まとめ方に応じて資料を選ばせる。</li> <li>・学習内容が日常生活に関わっていることを、教師が具体例を提示しながら紹介し、自分事として捉える。</li> </ul>

## 令和7年度 第5学年 授業改善推進プラン

台東区立黒門小学校

	児童・生徒の実態を踏まえた課題	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
国語	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉の働きを理解すること。</li> <li>・事実とそれに対する意見、感想などの関係を整理して自分の考えを書くこと。</li> <li>・目的を意識して伝わりやすい文章構成や段落の組み立て方などに気を付けて書くこと。</li> <li>・相手や目的を意識して、内容の中心を明確にして文章を構成し、書くこと。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割について理解する力。</li> <li>・考え方とそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解し、書く力。</li> <li>・書く内容の中心を明確にし、内容のまとまりで段落をつくり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考える力。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・叙述に着目しながら丁寧な読み取りを行う。</li> <li>・言葉の働きに関する練習問題を適宜行い、定着を図る。</li> <li>・書くことの中心をはっきりさせ、「はじめ」「中」「終わり」の3つの構成を立てるなどを繰り返し指導する。</li> <li>・事実と感想、意見の違いを提示し、各段落の要点を押さえ、段落の関係を考えるようにする。</li> </ul>
算数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計算のきまりを使って適切に計算すること。</li> <li>・道具を正しく使って作図したり、角度を求めたりすること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交換法則、結合法則、分配法則を用いて計算を簡単に行う力。</li> <li>・角の大きさを回転の大きさとして捉え、測定の意味について理解する力。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習した内容を適切に使って問題を解いたり、友達同士で考えを説明し合ったりする活動を繰り返し行う。</li> <li>・提示されている条件を図や表などを用いて整理し、立式したり作図したりする練習を適宜行う。</li> </ul>
理科	<ul style="list-style-type: none"> <li>・根拠をもって実験結果を予想をしたり、実験結果から分かったことをまとめたりすること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予想や仮説を基に解決の方法を考え、表現するなどして問題解決する力。</li> <li>・観察、実験などの目的に応じて器具や機器などを選択して正しく扱いながら調べ、それらの過程や得られた結果を適切に記録し、結果を基に考察する力。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実験や観察の結果を記録し、小グループやクラスで意見交換をしながら、法則や規則性につながる考察にまとめるように指導する。</li> <li>・予想、仮説、実験、結果、考察、結論の流れにそって自分の考えをノートに書くことで、理科の学習の流れを定着させ、見通しをもって学習に取り組めるようにする。</li> </ul>
社会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適切な資料を選び、それをもとに判断すること。</li> <li>・地図や資料を正しく読み取ること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国土の地理的環境の特色や産業の現状、社会の情報化と産業の関わりについて国民生活との関連を踏まえて理解する力。</li> <li>・地図帳や地球儀、統計などの各種の基礎的資料を通して、情報を適切に調べ、まとめる力。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料の読み取り方を指導とともに必要な情報を選別できるよう指導する。また、学び合いをすることで、友達に教えるために自分自身で必要な資料を整理し、表現する力を伸ばす。</li> <li>・学習内容に関連した時事ニュースを紹介し、日常化を図る。</li> </ul>

## 令和7年度 第6学年 授業改善推進プラン

台東区立黒門小学校

	児童・生徒の実態を踏まえた課題	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
国語	・目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。	・目的や意図に応じて自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する力。	・行事後の作文、日記、本の要約文などを書く活動を設定し、自分の考えが伝わる書き表し方を指導し、目的や意図に応じて書くことができるようする。
算数	・問題を正しく捉え、計算したり、作図したりして解決すること。  ・解き方を言葉や数を用いて記述し、立式すること。	・問題を正しく捉え、計算したり、作図したりする力。  ・解き方を言葉や数を用いて記述したり、立式したりする力。	・計算練習や作図の機会を十分に取り入れ、必要な際にはコンパスの使い方など再確認し、正しい計算力や作図力を身につける。 ・文章問題から立式させる際、図や表などを用いて整理し、立式するよう促す。
理科	・実験条件や実験結果の、差異点や共通点を基に、新たな問題を見出し、表現すること。	・新たな問題を見出し、表現する力。	・新たな問題を見出すために、何が必要なのかを考えさせる発問をする。 ・発芽の条件の差異点や共通点に着目するよう促す言葉掛けをする。
社会	・学習内容と日常の社会生活を結び付け、課題を見出すこと。  ・調べた事実から意味を見出すこと。	・日常の社会生活や資料などから疑問を考え、課題を見出す力。  ・調べた事実から意味を見出し、表現する力。	・学習内容と日常の社会生活を結び付けて考えることができる資料を提示する。 ・調べた複数の事実から意味を考え、表現するよう指導する。また、単元のまとめの時間に学習問題に対する自分の考えを表現する方法について指導する。